

## 新型コロナワクチン接種後の心筋炎についてのお知らせ

### ●新型コロナワクチンの副反応について

新型コロナワクチン接種による副反応は様々なものが報告されています。発熱、頭痛、倦怠感などはその中でも頻度が多いものの、数日で症状が消失することがほとんどです。一方、副反応のうち心筋炎・心膜炎の頻度は少ないものの、発症した場合は命に関わる場合があります。日本循環器学会は新型コロナワクチン接種と心筋炎について、接種後の心筋炎の発症リスクは低く、新型コロナウイルス感染予防の観点からワクチン接種を推奨する声明が出されています（2021年7月21日）。ただし、接種後に動悸、息切れ、胸痛等の症状が出た場合は速やかに医療機関を受診することを勧めています。

### ●ワクチン接種後の心筋炎の特徴

- ・症状；動悸、胸痛、胸部圧迫感や違和感、息切れ、呼吸困難など
- ・頻度は極めて稀で軽症例が多い。
- ・比較的若年で2回目接種以降に多い。
- ・接種後5日以内に多いが20日以降で起こることもある
- ・女性より男性に多い

### ●当院では心筋炎が疑われる場合は以下の手順で検査をします。

- ① 診察室での診察
- ② 胸部レントゲン
- ③ 心電図
- ④ 検尿・採血（一般採血他、心筋酵素など）

上記検査で何らかの異常が疑われた場合は心臓超音波検査を行います。  
入院や精密検査が必要と判断した場合は専門機関へ紹介いたします。

新型コロナワクチン接種後の心筋炎・心膜炎の発症頻度は極めてまれであり、過度に心配する必要はありません。何か不明な点がありましたらスタッフにお声がけください。